

令和5年度

# 大崎市民病院

Osaki Citizen Hospital

## 助産師募集案内



宮城県大崎市

# *I am a midwife...*

“いのち”と向き合う仕事  
大変な事もあるけれど  
助産師の仕事は魅力でいっぱいです

女性の一生に寄り添いながら  
自分自身も成長していける…

私たちと一緒に働きませんか？

産科スタッフ一同

# 地域周産期母子医療センター

当院は、宮城県北地域の周産期を担う地域周産期母子医療センターです。

産科とNICUが連携を図り、切迫早産、双胎、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病などハイリスク妊産婦の管理をしており、ローリスク分娩だけでなく、ハイリスク分娩についても経験を積むことができます。夜間は、産科医師・NICU医師が当直体制、麻酔科医師がオンコール体制で常勤しているため、超緊急帝王切開（手術決定から30分以内の児の娩出）にも対応できます。

病院全体でBFH (Baby Friendly Hospital: 赤ちゃんにやさしい病院) の認定を目指しており、母乳育児支援に力を入れています。また、退院後、母親の心身の回復や育児技術習得、育児不安の解消を目的とした「産後ケア入院」の受け入れ、産婦健診や赤ちゃん健診を行い、退院後も母親が安心して子育てができるよう継続した支援を行っています。

- 病床数：産科20床、婦人科4床
- 分娩件数：502件（令和3年度）  
経膈分娩337件、帝王切開165件（超緊急帝王切開3件）
- スタッフ：助産師：32名



分娩室



陣痛室

## 赤ちゃんにやさしい病院(BFH)を目指しています

当院では、ユニセフ・WHOの基本理念・方針に基づいた赤ちゃんにやさしい病院(BFH)を目指しています。2019年に準BFHステージ2の評価を受けました。

「母乳育児成功のための10カ条」にそって母乳育児支援を行っています。出生直後、分娩台でお母さんと赤ちゃんが肌と肌を合わせて過ごす早期母子接触(STS)や出産直後からの母子同室も行っています。

院内には多職種（医師、薬剤師、助産師、看護師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師）で構成された「母乳育児支援を進めるチーム」があり、病院全体で母乳育児支援に力を入れています。



# 当院の取り組み



超緊急帝王切開のシミュレーションを行い  
緊急時に備えています



早期母子接触 (STS) は  
お母さんと赤ちゃんが触れ合う大切な時間です



お母さんに寄り添った  
育児支援を行っています



産婦健診、赤ちゃん健診を行い  
産後ケアにも力を入れています



プリセプター制度を取り入れており  
先輩助産師がついてサポートします



妊娠中や子育て中のママさん助産師も  
安心して働いています



「そばに助産師がいます」  
これが私たちの  
モットーです  
一緒に働ける仲間を  
待っています!!

# 新人助産師の教育体制について

新人教育ではプリセプター制度を取り入れています。

## プリセプター制度とは？

新人助産師一人ひとりにそれぞれ先輩助産師がついてマンツーマンの指導をする教育方法です。

プリセプターは、仕事における指導や相談、精神的なサポートを行うお姉さんの存在です。

入職した当初は誰もが不安だと思いますが、安心して仕事に取り組めるようサポートしていきます。

1年後の自身の成長を楽しみにしながら、先輩助産師と一緒に頑張っていきましょう。



## スタッフからメッセージ

当院は県北唯一の地域周産期母子医療センターであり、正常からハイリスクの妊産褥婦、新生児の管理まで幅広く経験を積むことができます。また、BFH認定を目指しているため、院内全体を対象とした母乳出前講座を実施したり、毎日母乳カンファレンスを行い、アドバイスや意見を出し合いながらよりよい母乳育児ができるよう支援しています。

スタッフは経験豊富な先輩助産師から新人助産師まで、みんないきいきと働いています。

先輩助産師 **瀬川さん**

助産師として働き始め2年が経ちます。様々な妊産褥婦さんと関わり、個性のある支援を学ぶことができます。

コロナ禍で実習が思うようにできずに臨床に出る不安は多くありましたが、先輩助産師の皆さんから温かい指導をいただきながら、たくさんの経験を積むことができます。

3年目助産師 **阿部さん**



# 助産師ラダー

日本看護協会の CLoCMiP（助産実践能力習熟段階）に基づいて、助産師ラダーを取り入れています。

助産師ラダーの意義は、助産師が自身の実践能力を評価し次の目標につなげることです。それぞれのレベルに合わせて様々な研修会へ参加し、レベルアップを目指し取り組んでいます。

当院ではインターネット配信による研修を受講でき、充実した学習環境が整っています。



## レベル新人

- 指示・手順・ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる

## ラダー別課題

各レベル	レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
経験年数目安	1年目	2～3年	4～6年	7年～	Ⅲ取得後
認定期間	1年	2年	3年	3年	5年
妊婦健康診査実施数			150	200	+100
分娩介助件数（7割以上は経膈分娩）	20	50	80	100	+50
分娩室で出生直後の新生児健康診査	10	20	25	30	+10
日々の新生児健康診査	20	40	60	100	+50
産褥期健康診査実施数	50	80	100	200	+100
プライマリー件数	3	10	15	20	+20
小集団指導		10	15	20	+20
母親教室		10	15	20	+20
NCPR（新生児蘇生法専門コース）		B以上	B以上	A	A
学術集会への参加				○	○

## レベル I

- 健康生活支援の援助のための知識・技術・態度をできるだけ身につけ、安全確実に助産ケアができる
- 産科外来での業務内容が理解できる
- ハイリスク事例についての病態と対処が理解できる

## レベル II

- 助産過程を踏まえた個別的なケアができる
- 支援を受けながら、産科外来においてケアが提供できる
- 先輩助産師とともに助産において、ケアができる
- ローリスク／ハイリスクの判別および初期介入ができる

## レベル III

- 入院期間を通して、責任を持って妊産褥婦・新生児の助産ケアができる
- 産科外来において、個別性を考慮したケアを自律して提供できる
- 産科外来において、指導的な役割を實踐できる
- 助産において、自律してケアができる
- ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる

## レベル IV

- 創造的な助産実践ができる
- 産科外来において、指導的な役割を實踐できる
- 助産において、指導的な役割を實踐できる
- ローリスク／ハイリスクの事例において、スタッフに対し教育的な関わりができる

## 研修(オンデマンド・eラーニングも含む)

新生児蘇生法 (NCPR : B コース以上)
分娩期の胎児心拍陣痛図 (CTG の判読)
妊娠と糖尿病
臨床推論につなげるためのフィジカルアセスメント : 脳神経・呼吸・循環
子宮収縮薬の使用と管理 (輸液ポンプ)
医療安全と助産記録
妊娠期の栄養
メンタルヘルス
緊急時の対応
助産師と倫理
母体の感染

※ 1年で3つの研修、5年間で全ての研修が受けられるよう計画しています

# 助産師募集概要

## 試験方法及び内容（状況により試験種目は変更になる場合があります）

開催回数	区分	試験種目	試験日	受験申込み受付期間
第1回	採用試験	作文試験・面接試験	令和 5年 5月21日(日)	開始：令和 5年 4月 3日(月) 終了：令和 5年 4月28日(金)
第2回	採用試験	作文試験・面接試験	令和 5年 7月 9日(日)	開始：令和 5年 5月 8日(月) 終了：令和 5年 6月16日(金)
第3回	採用試験	作文試験・面接試験	令和 5年 8月27日(日)	開始：令和 5年 7月 3日(月) 終了：令和 5年 8月 4日(金)

## 給与 ※下記表内給料月額は今和4年4月1日現在の基本給+初任給調整手当の額です

区分		給料月額(1年目)	給料月額(3年目)	給料月額(5年目)
助産師	大学院卒	242,100円	252,700円	263,600円
	大学卒	231,000円	240,600円	252,700円
	高専3年課程卒	219,900円	232,200円	243,600円

## 給与モデル【4大卒例】（夜勤4回・住宅手当支給）

基本給+	初任給調整手当+	助産師調整手当+	住居手当+	夜間看護手当+	夜間勤務手当+	救急医療看護職員手当=	総支給額
216,000円+	15,000円+	8,500円+	28,000円+	35,200円+	8,526円+	12,000円=	323,226円

◎助産師業務に従事した場合は、毎月の給与と併せて助産師調整手当が支給されます。

◎初任給調整手当は令和5年度から支給されます。



### 大崎市民病院案内図

- JR東北新幹線 仙台駅から古川駅まで14分
- JR東北新幹線、陸羽東線 古川駅から車で約10分
- 東北自動車道 古川ICから車で約10分
- 東北自動車道 三本木スマートICから車で約12分
- JR陸羽東線 塚目駅から車で約5分
- 古川駅と当院の間を往復するシャトルバス運行中

# 大崎市民病院

経営管理部 人事厚生課

〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目8番1号

☎ 0229-23-3311 ☎ 0229-23-5380

🌐 <https://www.h-osaki.jp/>

✉ [jijinji@h-osaki.jp](mailto:jijinji@h-osaki.jp)

